

隊友会の目的

- ・国民と自衛隊とのかけ橋
- ・防衛意識の普及・高揚
- ・慰霊顕彰事業・地域社会の健全な発展に貢献
- ・退職者等の福祉の増進

県央ニュース

発行責任者

公益社団法人 隊友会
 神奈川県隊友会県央支部
 支部長 藤本 正則
 090-4521-9673
 fuji0362@jcom.zaq.ne.jp

コロナ禍での イベント開催に想う

令和3年7月23日からオリンピック史上初となる新型コロナウイルス感染によるパニックの下、東京オリンピックが開催された。2020の国・地域等からの参加者を得て実施されたこの大会は賛否両論から成る色々な意見があり、実施も危ぶまれたが無事に終わった。

開催までの間或いは開催中、テレビ・新聞・雑誌等で色々なコメンテーターなる人々がこれまた色々な意見を述べていた。最終的には歴史が判断を下すことになると思う。発言や掲載に責任の無い人々のことは別にして、責任ある立場の人（成功すれば「当然」、失敗すれば「非難的」になる人）は発言等が慎重にならざるを得ないのは理解できる。これが独裁国家や全体主義国家であれば、開催は成功であったと発表したであろう。

真意は分からない。ユーチューブ等では参加国や参加者の中から「開催に感謝する。関係者のご苦勞を深謝する。日本の皆様のおもてなしに深い感謝を受けた。」等々の投稿もあるが、日本のマスコミではなかなか報道されないのは、戦後の自虐思想に深く根差しているのではないだろうか。そろそろそのような考え方は決別すべき時期に来ているのではないだろうか。もっと日本国や日本人に誇りをもつて報道すべきと思う。

一方、台風9号の影響で全日本高等学校野球選手権大会が順延となり、8月10日から開催された。主催は朝日新聞と日本高等学校野球連盟であり、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で熱戦が繰り広げられた。参加し優勝することが高校球児の目標であり、テレビで見ている気持のいいものである。観客は制限したが、兵庫県は8月2日から8月31日までまん延防止等措置発令の地域に指定されたが、マスコミは兵庫県や西宮市の新型コロナウイルスの感染状況等についても報道すべきであったのではないだろうか。さて、東京パラリンピック

が8月24日から9月5日まで開催中された。この原稿を書いている時点では順調に行われているようであるが、油断は禁物である。参加国や参加者から「東京パラリンピックは素晴らしかった。一生の思い出になる。」と思われるように、関係者には気を抜くことなく、閉会当日まで頑張ってもらいたい。特に、デルタ株に加えて最近話題に上がりつつあるラムダ株の変異ウイルスへの対応には十分対策を取って取ってもらいたい。

今回の新型コロナウイルスの感染状況は、歴史上類を見ない状況であり、発生源等不明のままである。年が明ければ中国・北京市に於いて冬季オリンピックが開催される。当然中国は東京オリンピックの状況を詳細に分析し、その結果を冬季オリンピックに反映させるであろう。一党独裁体制の中国では強力な感染防止策を計画するであろうことも想像できるが、成功を期待したい。（支部長記）



お知らせ 記事投稿のお願い

昨年度末から再度投稿記事を募集していますが、投稿が少ないのが現状です。「県央ニュース」は県央支部の活動状況や今後の予定並びに会員相互の情報交換の場であり、自分の意見や経験・近況等を発表する数少ない機会です。正会員は勿論のこと、特別会員並びに現役からの投稿も大いに歓迎し、期待しているところです。県央ニュースの配布先は会員に加え、部隊・県央支部担当地域（厚木市・伊勢原市・海老名市・大和市・秦野市・綾瀬市・愛川町・清川村）等があります。今回特別会員の方から投稿がありましたので掲載します。会員（正会員・特別会員）の方や現役からの投稿をお待ちしています。（広報部長記）



が進みつつあります。このような情勢だからこそ、日米同盟の存在は我が国の安全保障体制の基軸になり、陸海空自衛隊と海上保安庁を中心として、引き続き強固な国防インフラを構築することが極めて重要となっています。

国民一人一人が主権を守り抜くという意識や強い意志を示すことで、将来に渡る国土防衛、国家繁栄が構築されます。私も強い覚悟を以ってこれからも政治活動に取り組みで参ります。

隊友会の益々の発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。
特別会員
衆議院議員 甘利明

日本と地元を、守り抜く



の「国土資源省」の所管下に置かれておりました。しかし、2018年1月に再編が行われ、現在は「中央軍事委員会」の「武装警察」の下に編入されました。すなわち有事の際は「中国人民解放軍」の一員として行動する組織として再編されたのです。

隊友会の皆様方におかれましては、平素より我が国の平和と安全のために日夜尽力してくれている自衛隊の活動を草の根で支えて下さっていることに、国政の場に身を置く者として心より感謝しております。

世界中が長引くコロナ禍で揺れ動いている中、中国は海洋進出の野心を隠そうともしない行動を続けております。中国公船による尖閣周辺の領海ならびに接続水域への侵入は過去最多を更新し続けております。また中国の国会に相当する全国人民代表者大会（全人代）では「海警法」が制定されました。この法律は、国家の主権や管轄権が外国の組織、個人に侵害された際には「武器の使用も含めてあらゆる必要な措置が取れる」と明記されております。

我々には現下の危機を直視し、価値観を共有する国々との連携を抜本強化しながら領土・領海、国民の生命と財産を守り抜く責任があります。加えて我が国の主張を国際社会に明確に発信していかねければなりません。ただ「遺憾の意」を表明するだけでは、身を賭して日本を守っている自衛官の献身に応えることにはできないのです。

私はブレません。
国政の場で自衛隊、そして隊友会の皆様と手を携えて活動が続けていきます。
皆様方の変わらぬ御指導と御鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



我が国への領海侵犯を繰り返している「中国海警局」は、元々、我が国の海上保安庁（国土交通省所管）と同様に、「国务院（中国政府）」

神奈川県隊友会県央支部の皆様には、日頃のご支援に心より感謝申し上げます。皆様と国に馳せる思いを共有し、政治活動に取り組んでいることは私の誇りです。先に自衛隊による史上初のオペレーションであるコロナワクチン大規模接種センターの設置・運営により飛躍的に接種率が向上したことに敬意と感謝を申し上げます。私自身も大手町のセンターで接種してもらい、テキパキとストレスなく進行するシステムに「さすが、自衛隊！」と感銘を受けました。コロナ禍の状況下、自由民主主義陣営は、自由と民主主義、人権やプライバシーの尊重などの価値観を共有する世界秩序を引き続き維持発展させて行くことが至上命題です。



足下では、竹島・尖閣諸島の国境問題、中国が進めるデジタル化や一帯一路を通じた権威主義国家による国家監視型政治体制の国際ルール化が生じており、米国を中心とした西側諸国と権威主義国家陣営との世界秩序を賭けたデカップリング（分断）

四国八十八所霊場
遍路旅日記
 旅人 松岡貞義

11月21日(水) 歩き遍路

2日目(累計38日目)

歩行距離: 26.4キロ

昨夜は初日の疲れもあり、9時過ぎに床に入ったが、自分の部屋がトイレ、洗面所の横であり、襖一枚を隔てた隣の遍路が夜中に何度もトイレに起きるのには閉口した。また、朝は5時前からゴソゴソし始めたため仕方なく自分も起きて足のテーピングなどの準備を行った。6時から朝食、早い遍路は直ぐに出発した。自分も昼食の握り飯のお接待を受け、6時半過ぎに宿のご主人の見送りを受けて出発した。

昨夜の宿のご主人からの詳細な説明のお陰で、道に迷うことなく、雲辺寺の登山口に入った。途中約1キロ強のきつい上りがあったが、焼山寺や太龍寺の遍路転がしを経験していることから、休みながらも5キロの道のりを約2時間で**66番札所雲辺寺**山門に着いた。山門横の石碑に刻まれていた「はるばると雲のほとりの寺にきて月日をいまはふもとにぞ見る」のご詠歌を見て、思わず

「はーるばる 来たぜ雲辺寺」と口ずさみたくなった。参拝後、境内裏の展望台に登り、360度の四国の眺望を眺めた。また、境内にある五百羅漢の石像は圧巻であった。何枚か自分に似たような顔の石像を写真に撮った。

66番札所「雲辺寺」本堂前



五百羅漢の石像群



似てる顔?の羅漢



10時前に雲辺寺を出て、次の67番札所「大興寺」への遍路道に入った。途中徳島と香川の県境を越えて、いよいよ「涅槃の道場」讃岐路に足を踏み入れた。大興寺までの長い下りの遍路道、ここも積もった落ち葉を踏みしめながらの歩きとなった。石ころの多い急な下りの道は、膝へのダメージが大きく歩き難い。

途中で70歳過ぎと思われる老夫婦の遍路に追い付いた。旦那さんが奥さんの足を気遣いながら、二人で苦勞しながら山道を下っていた。「大丈夫ですか」と声をかけることしか出来なかった。おそらく雲辺寺へはロープエーに乗ってきたのであろうが、下りの遍路道に挑戦したのは少々気の毒であった。

その後、昨夜同宿した茨城からの若い女性遍路が追い付いてきて、話しながら大興寺を目指した。彼女は6月に会社を辞めて、何かしようと思いい、この夏フランスからスペインの聖地サンチャゴまで約900キロの巡礼を経験したとのこと。

以前から四国遍路にも興味があり、今回10月半ばから通し打ちを行っており、このペースで歩けば40日以内に結願出来るそうであり、合わせて今年2,000キロ以上歩きますと嬉しそうに話してくれた。

12時半過ぎに**67番札所大興寺**に着いた。ここの山門の金剛力士像は、かの有名な運慶の作である。参

拝後、昨夜同宿の三人で一期一会の記念撮影をした。

67番札所「大興寺」山門



運慶作の金剛力士像



この後、時間に余裕があることから、当初は明日打つ予定にしていた**68番札所神恵院**、**69番札所観音寺**を目指した。4時前に山門に到着、この二寺は同じ境内にある。参拝後、裏山の展望台に登り砂浜に作られた寛永通宝を眺めたが、暗くなりはっきり見えなかったのが残念であった。日没が近づく5時前に今夜の宿、観音寺市の晩翠旅館に投宿した。

(以下次号)

閑話休題（1）

昭和45年、厚木基地が返還され海上自衛隊との共同使用が決定された。翌46年、厚木航空基地分遣隊が新編され、海上自衛隊の隊員も赴任し始めた。

同年12月初旬、私も厚木基地に赴任した。基地正門から入ってロータリー横の松の木が、沢山の電球で飾られているクリスマスツリーに驚かされた。今では美しく飾られたクリスマスツリーを、あちこちで見ることが出来ます。昭和46年当時、私にとつて初めて見る美しいクリスマスツリーでした。

居住した隊舎は、現在「T33」隊舎として建っているところにあつた12バックスであつた。米軍兵士が使用していた隊舎でシャワールームがあり、スチーム暖房が整っていた。寒い冬に着任したのに、隊舎内は半袖シャツで過ごせる快適な温かさであつた。

ところが快適な隊舎に、少々変わった設備があり、それはトイレであつた。小用の方は現在と同じだが、大のほうは便座と便座を仕切る横の板壁

はあるが、正面のドアがなかった。横並びに4個の便座が並んでおり、その正面にも同じ便座が並んでいた。横の人は板で隔てられているが、正面の人と、その横の斜め前の人とは丸見えの状態で用を足すことになった。最初は戸惑つたが、だんだん慣れてきて、

正面（あるいは斜め前）の人とは世間話をしながら用を足せるようになった。煙草の煙をくゆらしながら用を足す人も居て、賑やかに井戸端会議が開かれていた。トイレで、

ところが、新着任の若い隊員は苦勞していた。真夜中あるいは早朝の早い時間に、誰も居ないことを確認して用を足していた。仕事場の格納庫のトイレは、隊舎と同じ作りながら、正面にビニールカーテンを取り付けられて一応個室になつていた。そこで、格納庫まで必死に我慢して用を足しに行つた若い隊員もいた。隊舎と格納庫は、1キロ余り離れており、便秘症に悩まされた隊員が少なからず出たオープンなトイレであつた。

返還間もない頃、赴任して見た面白い基地環境のひとつでした。
（以下次号）
斎藤司（綾瀬市・海）

厚木募集案内所からのお知らせ 2021年秋号

話しを聞いてみませんか？

厚木募集案内所では、自衛隊の受験のこと、制度のことなど、ご連絡いただければご希望に応じて説明をいたします。

ご本人様のみならず、ご子息様、ご友人でも構いません。

自衛官に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、厚木募集案内所までご連絡ください。

現在、来春入隊の種目は次のご案内をしております。

- ・防衛大学校学生（自衛隊の幹部を養成する大学校、毎月約11万円の手当が支給されます。）
- ・高等工科大学校学生（普通科高校と同等教育等を受けられ、毎月約10万円の手当が支給されます。）
- ・貸費学生（大学及び大学院の学資金、毎月約5万4千円が貸与されます。）
- ・自衛官候補生（任期制隊員。退職時に特例退職手当支給の他、再就職支援があります。任期の継続も可能です。）

受付期間、受験日、種目等の詳細は、厚木募集案内所HPをご覧ください。電話にてお問い合わせください。

また、ツイッターでは、イベント情報など、自衛隊の様々な情報を発信しておりますので、併せてご覧ください。

編集後記

△ 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、隊友会活動も中止及び延期されたため、県央ニュースに掲載する記事も少なく、今回も4頁になった。

△ 感染拡大が減少傾向にあるが、デルタ株やイータ株等の変異株が確認され、予断を許さない状況だ。9月末で緊急事態宣言等解除され、各種活動にも制限はあるものの、一歩前進である。

編集子



厚木募集案内所HP



ツイッター

厚木募集案内所 電話：046-400-2486